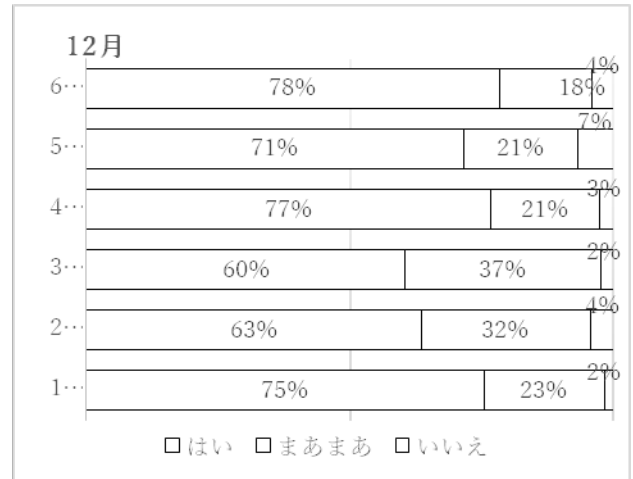
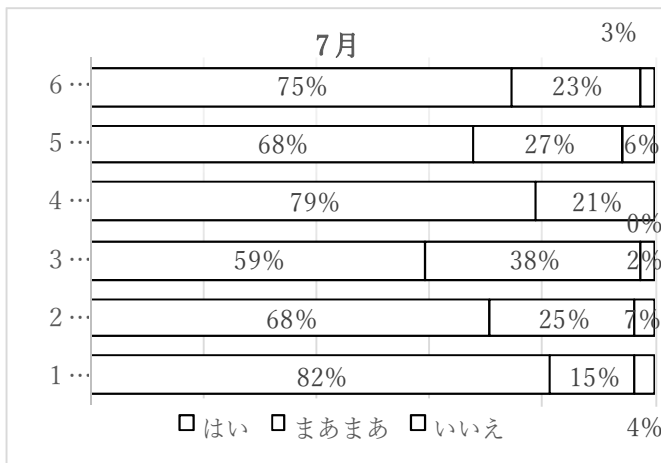


## 平成 29 年度 第 2 回学校生活児童アンケートに関する分析・検討

第2回の児童アンケートの集計結果では、ほとんどの項目で“はい”“まあまあ”の合計が90%を上回っています。このアンケート結果を、これまでの実践を振り返る材料の一つとして捉え、今後の指導に生かしていくことが大切だと考えています。

### 1. 7月と12月のアンケート結果から

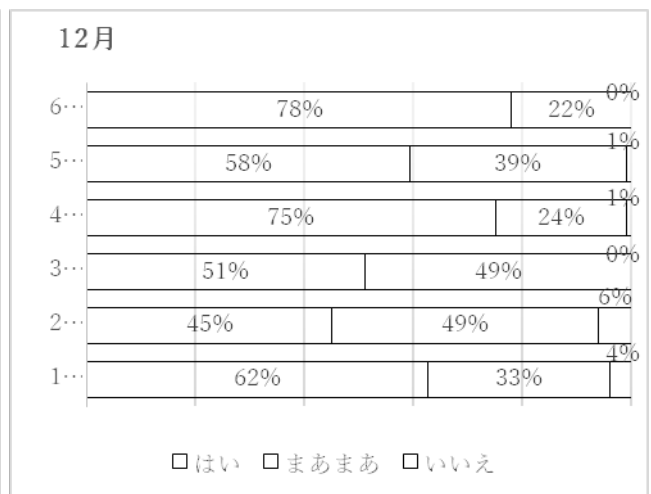
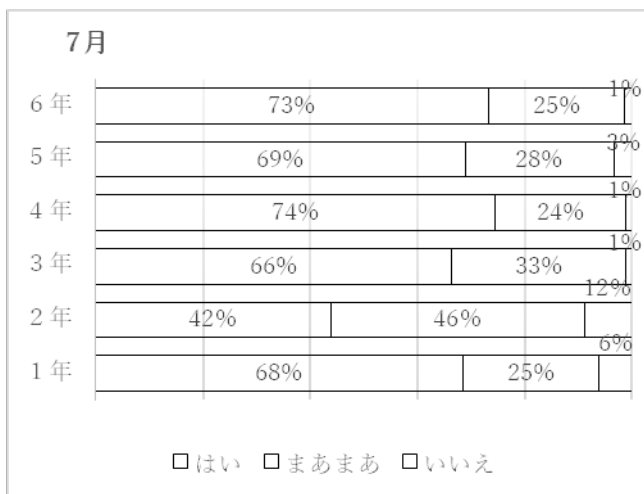
#### ① 学校は楽しいですか。



成果…学校生活については、前回の結果と同様、“はい”“まあまあ”の合計が全ての学年において90%を超えており、子どもたちは概ね満足していると言えます。さらに、“はい”と回答した児童の割合が増えている学年もあります。

課題…どの学年にも“いいえ”と回答した児童がいます。今後も、職員間での情報共有や家庭との連携を密にし、学習・生活面で更に細やかな指導・支援をしていく必要があると考えています。

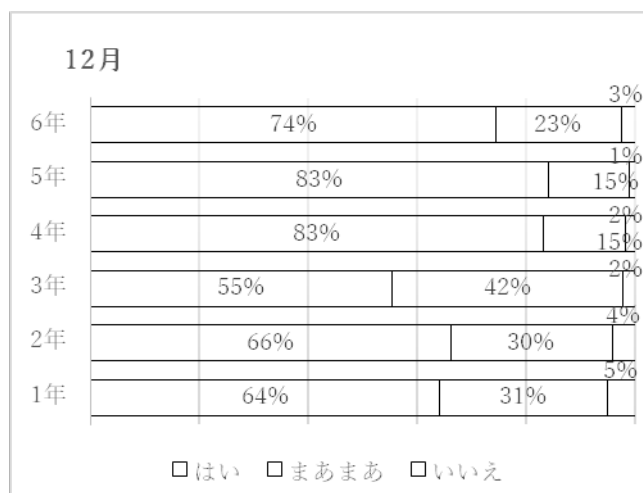
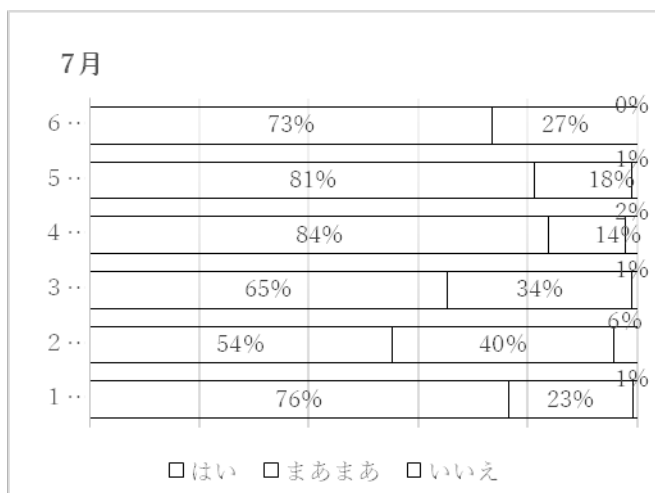
#### ② 授業はよくわかりますか。



成果…前回より“いいえ”と答えた児童の割合が減少しています。子どもの課題を把握し、授業改善に取り組んできた成果と言えます。今後も子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる授業を継続していくことが大切だと考えています。

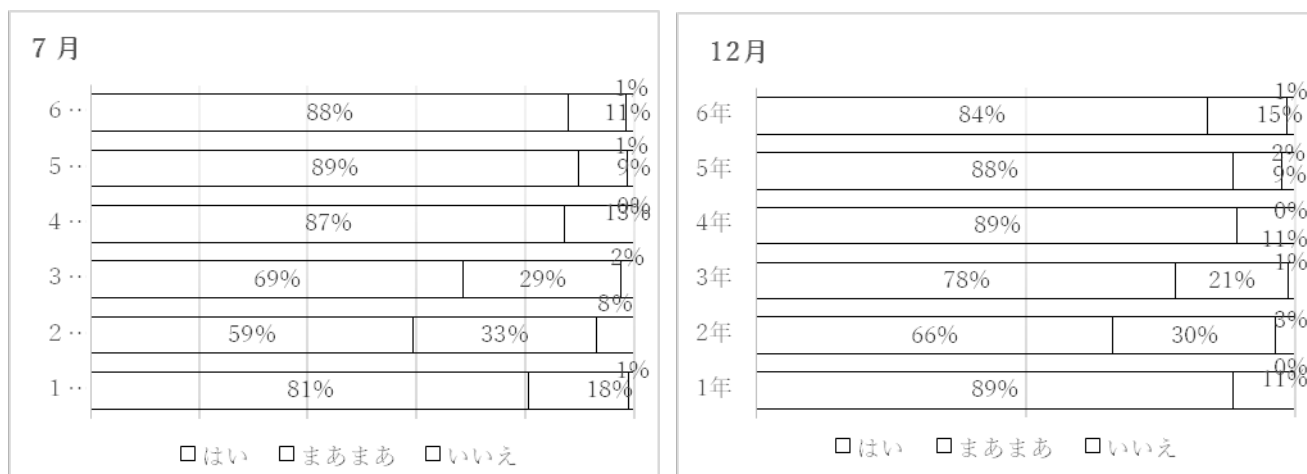
課題…“いいえ”と回答した児童が減った一方、“はい”と回答した児童も減っています。本時のめあてやねらいを示し、問いや指示を明確にするなど継続して授業改善に努めていく必要があります。また、学年部で学習指導に関する情報交換や教材研究をしたり、互いの授業を参観したりするなど互いに授業力を高め合うような取り組みや児童が学習に集中できる教室の環境作りにも努めていかなければならないと考えています。

③友達や先生の話をしっかり聞いていますか。



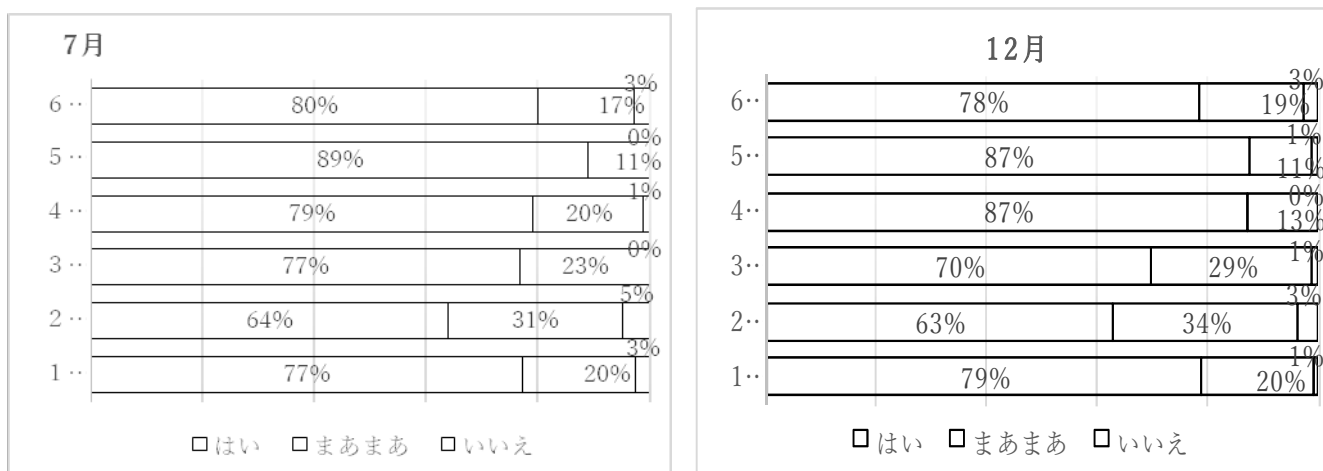
成果…2年生で“はい”と回答した児童の割合が10%以上増加しています。学習時の姿勢、発表の仕方や話の聞き方、話合いの仕方などの学習規律の定着が要因として考えられます。高学年は、前回と同様の高い数値を維持しています。学力向上には学習規律の確立が有効であることは、全国学力・学習状況調査のクロス集計においても明確になっています。何より学習規律の確立は、「わかる授業づくり」と密接に関係し、効果的な教育活動の基盤となります。今後も子どもたちの状況を常に確認していくことが大切だと考えています。

④ 友達と仲良くしていますか。



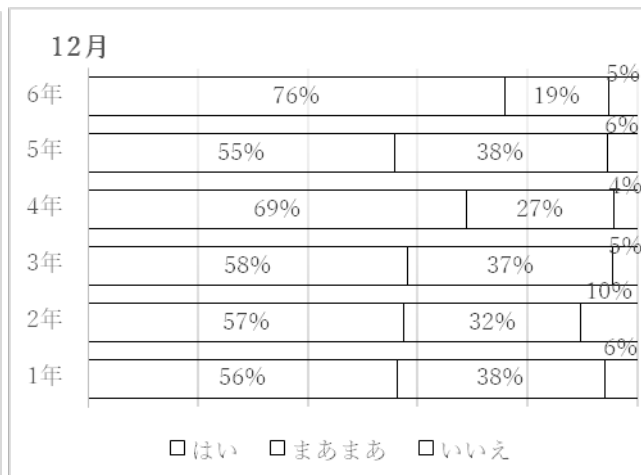
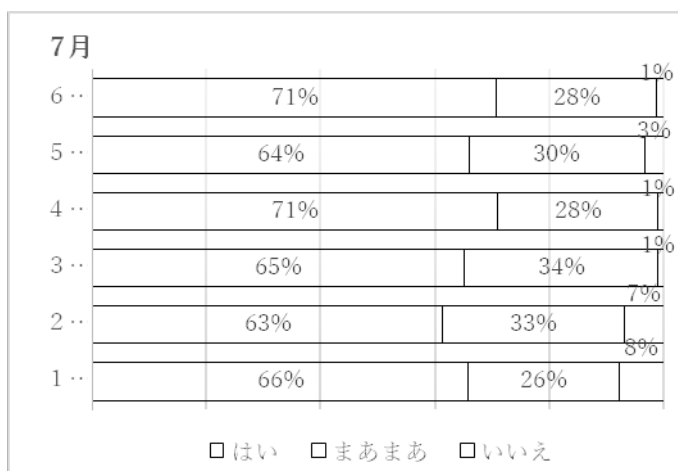
成果…前回のアンケート同様、友人関係については高い満足度を示しています。仲間づくりを学級経営の基盤として取り組んでいきた成果と言えます。今後も、子どもたちの小さな変化を見逃さず、子どもへの声かけや家庭訪問を行うなど適切な対応を続けていくことが大切だと考えています。

⑤ 友達と協力して係の仕事をしていますか。



成果…前回とアンケートと同様、多くの児童が自分の仕事に責任を持って意欲的に活動をしていると言えます。今後も友達と協力して活動することや自分に任された仕事を最後までやりぬくこと、自分たちで活動内容を工夫しながら係活動や委員会活動に取り組むことなど発達段階に応じた指導・支援をしていくことが大切だと考えています。

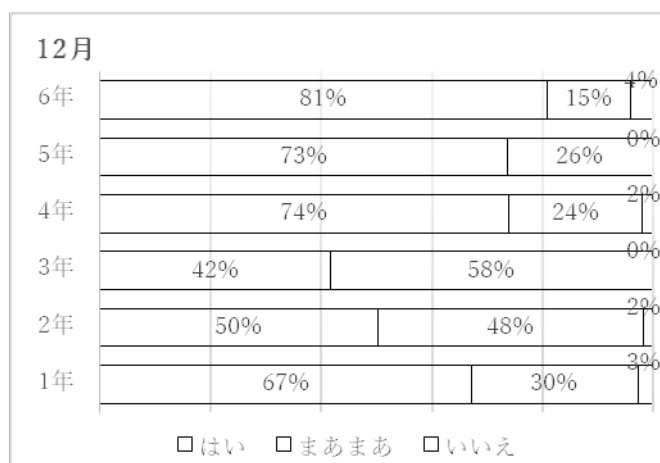
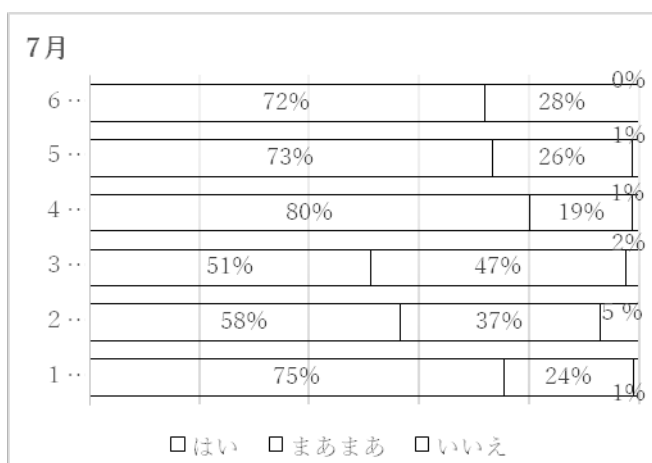
⑥ 自分から進んで挨拶をしていますか。



成果… “はい” “まあまあ” を合わせると、全ての学年が 90%を超えています。あいさつは、人と人をつなぐコミュニケーションの基本です。今後も自然に挨拶ができるよう指導をしていくことが大切だと考えています。

課題… “はい” の割合が減少し、“いいえ” の割合が増加しています。朝や帰りの挨拶、授業前後の挨拶が元気よくできるように指導を継続していくこと、また、職員から率先して元気に挨拶をしていくことが大切だと考えています。

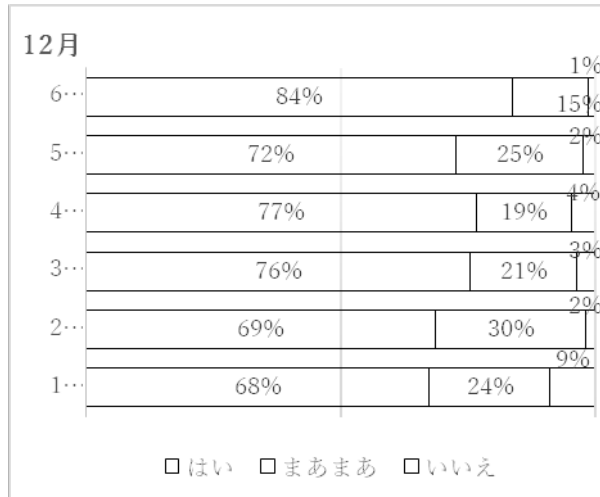
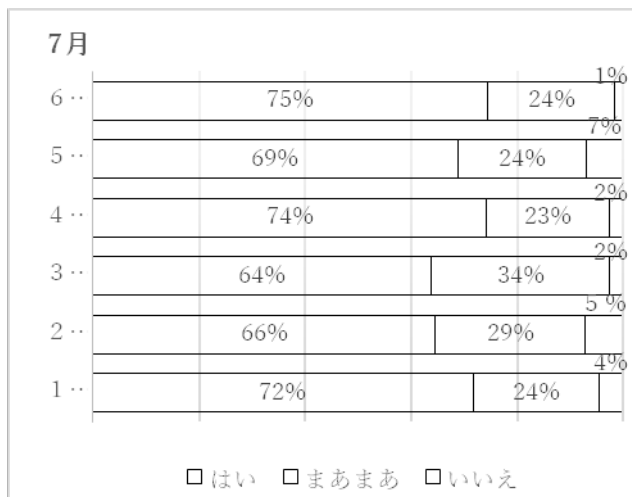
⑦ 学校の決まりを守っていますか。



成果… “はい” “まあまあ” を合わせるとほとんどの児童が決まりを守って生活をしています。4年生以上で高い数値を示しており、高学年としての自覚を持って生活ができています。今後も子どもたちに規範意識を呼びかけるとともに、全職員共通理解の下に、子どもたちに指導と支援を確実に行っていく必要があると考えています。

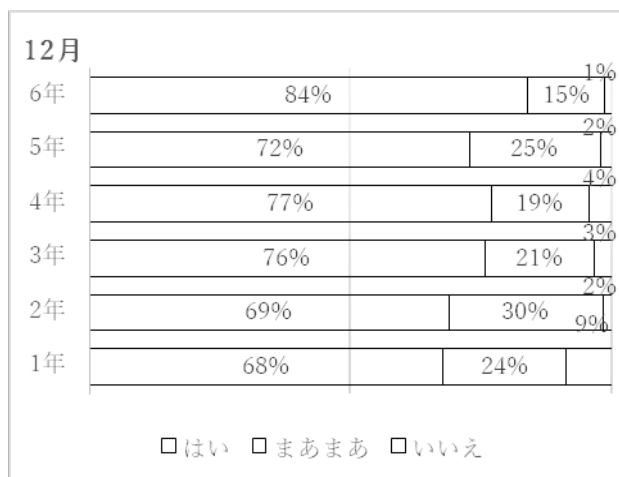
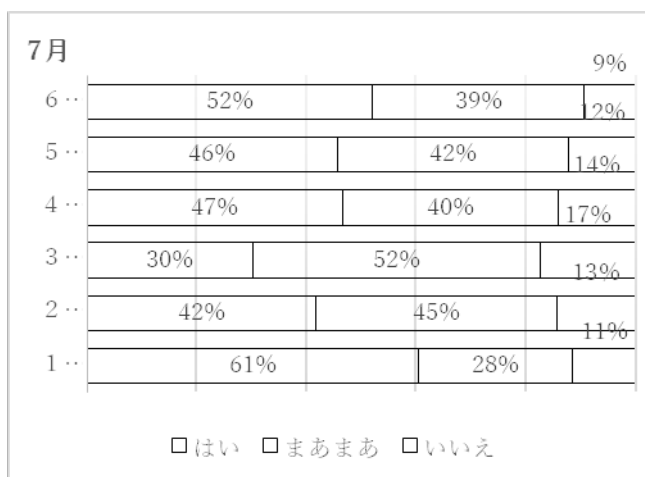
課題… “はい” の割合が大きく減少している学年があります。毎月の生活目標や各指導部からの目標についてクラスで守り方を話し合ったり振り返りをしたりして、日頃からきまりを守るよう心掛けていくことが大切です。

⑧ 自分から進んで宿題をしていますか



成果… “はい” の割合が全体的に増えています。今後も自ら学ぶ力を育てるために、子どもの発達段階や教科等、学習内容に応じて、家庭学習の仕方を指導していくことが大切だと考えています。また、学習習慣の形成のための継続的活動を大切に、家庭学習の習慣を身につけさせるために、家庭ときめ細かく連携を図ることが大切だと考えています。

⑨ 困った時、先生に相談しやすいですか。



成果…どの学年も “はい” の割合が増えています。子どもたちと信頼関係を築いてきた成果と言えます。今後も教師の思いを言葉にして伝え、一人ひとりを大切に教育を続けていくことが大切だと考えています。